

熊谷事業所「K1200プロジェクト」が結実

アルビオン

アルビオンは、今後の持続的成長を目標として、2018年3月より生産・物流拠点である熊谷事業所にて推進してきた「K1200プロジェクト」が結実した。第一、第二生産棟と基盤が整ったことで、生産高1200億円をクリアしつつ、より高品質な商品の提供が可能となった。

8月7日に開催された午前10時30分より熊谷工場内にて行われた。

大野瑛子知事による「今後も熊谷市から日本の化粧品業界をリードしていくことを大いに期待している」という祝辞に続き、小林社長は「新生産棟の着手は、私にとっても大きなプロジェクトだった。新生産棟の完成がアルビオンの発展に大いに貢献するであろうと確信している」と挨拶した。



熊谷工場は、今後の持続的成長を目標として、2018年3月より生産・物流拠点である熊谷事業所にて推進してきた「K1200プロジェクト」が結実した。第一、第二生産棟と基盤が整ったことで、生産高1200億円をクリアしつつ、より高品質な商品の提供が可能となった。

熊谷工場は、今後の持続的成長を目標として、2018年3月より生産・物流拠点である熊谷事業所にて推進してきた「K1200プロジェクト」が結実した。第一、第二生産棟と基盤が整ったことで、生産高1200億円をクリアしつつ、より高品質な商品の提供が可能となった。

ライオン

本社と全ての工場でRSPOサプライチェーン認証を取得

今回完成した新生産棟（地上4階建て、延床面積1万2500㎡）は、2020年8月より稼働。「生産力の向上」「品質の維持」「自動化の推進」をプランニングコンセプトにしており、第二生産棟と併せてスキンケアの生産能力を1.3倍に引き上げるとともに、

ライオンはこのほど、持続可能な原材料調達を取り組みとして、本社と全ての工場においてRSPOサプライチェーン認証を取得した。

RSPOとは、RSPO認証原料が全てのサプライチェーンで確実な受け渡しシステムが構築されていることを、外部審査員の監査を経て認証される制度。同社は、衣料用洗剤やハンドソープなどに使用する洗浄成分の原料として、パーム油・パーム核油を使用していることから、原材料産地の社会課題や環境等に配慮する持続可能な原材料調達の実現を推進している。

2020年8月には、本社と全ての工場（千葉工場、小田原工場、大阪工場、明石工場）でRSPOサプライチェーン認証を取得し、同社が設定している環境目標「Eco Vision 2020」の1つである「2020年末までにパーム油の調達を推進している」という目標を達成した。

「Eco Vision 2020」は、2030年目標である「地球」の双方にとって「健康な未来」の実現を目指す。この目標達成への貢献を、今後も推進していく。

「Eco Vision 2020」は、2030年目標である「地球」の双方にとって「健康な未来」の実現を目指す。この目標達成への貢献を、今後も推進していく。

「Eco Vision 2020」は、2030年目標である「地球」の双方にとって「健康な未来」の実現を目指す。この目標達成への貢献を、今後も推進していく。

BASF

UVA防御成分の製造ラインを台湾・高雄工場に新設

アジア太平洋地域の需要の高まりに対応、2022年半ばから追加供給が可能になる予定だ。

BASFは、台湾・高雄に高圧供給が可能になる予定雄工場に製造ラインを新設することにより、UV A吸収剤「Uvinul A Plus（ユビナール・シュヴェーンスドルフ・A Plus）」のグローバルでの生産能力を倍増する。現在、BASFは同UV A吸収剤をルフトウィッチスハーフェン拠点で生産しており、2022年半ばまでに追う。BASFはパーソナルケア成分の世界的なマーケットリーダーとしてこの成長に貢献する」と語る。



キヤノンITソリューションズ

Wechatと連携した模倣品対策が好調

キヤノンITソリューションズは、2017年から展開する正規品判定クラウドサービス「C2V Connected」が、スマートフォンで2次元バーコードを読み取るだけで消費者が簡単に判定が行えるという利便性の高さや、クラウドサービスならではの導入のしやすさに加え、中国で

広く普及しているSNS「Wechat」とAPI連携した初の模倣品対策ソリューションとして注目が高まり、中国市場に向けて輸出を強化している化粧品・日用品メーカーを中心に採用が広がっている。

昨今では越境ECの発展に伴い、インターネット販売における模倣品や不正規品の被害が増加傾向にあり、模倣品による売上低下に加え、誤認利用によるトラブルからブランド価値の低下に悩まされる企業も少なくない。

「C2V Connected」は、キヤノンの表示、不正流通の抑制にも活用できるという。これまでの導入実績として、化粧品・日用品メーカーが半数を占めており、中国で高く支持されているシートマスクやヒアルロン酸原液を取り扱う有力ブランドにも採用されている。

「日本での模倣品は中国と比べて少ないが、最近ではフリマアプリ市場が大きく伸びており、偽物が多く存在している。これに対応するため、模倣品対策サービスの導入が急務となっている。C2V Connectedは、偽物の検出率を高く保ち、消費者の地域別利用状況や不正規品判定結果の傾向を把握することが可能で、マーケティングや模倣品対策、さらにトレーサビリティ情報にも活用できるという。日本市場に向けては今後、国内のSNSツールとの連携を図る。

「C2V Connected」は、キヤノンの表示、不正流通の抑制にも活用できるという。これまでの導入実績として、化粧品・日用品メーカーが半数を占めており、中国で高く支持されているシートマスクやヒアルロン酸原液を取り扱う有力ブランドにも採用されている。

資生堂

「エリクシール」新ブランドミューズ発表会を開催

資生堂は、エイジングケアブランド「エリクシール」より、新美容液「デザインタイム美容液」を発売し、新CM「デザインタイム編」を放映するのに先立ち、8月20日、YouTube Liveにて、エリクシールの新ミューズ発表会を開催した。



当日は、エリクシール影絵話などについて語り、エリクシールが実現する価値と「つや玉」に込めた思いと、ブランドミューズに長澤さん起用した理由について「毎日のスキンケアで、『つや玉』の輝く肌を実現し、前を向く一歩を後押しできればと考えている。様々な役柄にチャレンジされ、活躍の幅を広げている長澤さん、新CM「デザインタイム編」の撮りに前向きに生きる女性として、美容関連の発信を積極的に行うお笑い芸人のバービーと、「奇跡の44歳」として人気の美容家 石井美保氏をゲストに迎え、正面と側面から45度の顔印象の違いについてトークセッションが行われた。

石井氏は、事前に「エリクシール」HP内にある自身の正面顔と側面顔の45度顔の見た目の年齢差が簡単にわかる「ななめ45度チェック」サイトを体験し、ななめ45度顔が正面顔より「14歳」だったというバービーに対して「年齢とともに正面と側面45度の顔印象の違いができてきたら、それはゆるみの兆し」と指摘。毎日の手入れやケアでゆるみ対策をしていく重要性について言及した。

最後に、長澤さんは「肌と向き合ってきたので、エリクシールの新ミューズになることができとても嬉しい。エリクシールと一緒に肌をデザインし、ミューズとして多くの人にブランドの魅力を発信していく」と意気込みを語った。

「C2V Connected」は、キヤノンの表示、不正流通の抑制にも活用できるという。これまでの導入実績として、化粧品・日用品メーカーが半数を占めており、中国で高く支持されているシートマスクやヒアルロン酸原液を取り扱う有力ブランドにも採用されている。

「日本での模倣品は中国と比べて少ないが、最近ではフリマアプリ市場が大きく伸びており、偽物が多く存在している。これに対応するため、模倣品対策サービスの導入が急務となっている。C2V Connectedは、偽物の検出率を高く保ち、消費者の地域別利用状況や不正規品判定結果の傾向を把握することが可能で、マーケティングや模倣品対策、さらにトレーサビリティ情報にも活用できるという。日本市場に向けては今後、国内のSNSツールとの連携を図る。

「C2V Connected」は、キヤノンの表示、不正流通の抑制にも活用できるという。これまでの導入実績として、化粧品・日用品メーカーが半数を占めており、中国で高く支持されているシートマスクやヒアルロン酸原液を取り扱う有力ブランドにも採用されている。

「C2V Connected」は、キヤノンの表示、不正流通の抑制にも活用できるという。これまでの導入実績として、化粧品・日用品メーカーが半数を占めており、中国で高く支持されているシートマスクやヒアルロン酸原液を取り扱う有力ブランドにも採用されている。

「C2V Connected」は、キヤノンの表示、不正流通の抑制にも活用できるという。これまでの導入実績として、化粧品・日用品メーカーが半数を占めており、中国で高く支持されているシートマスクやヒアルロン酸原液を取り扱う有力ブランドにも採用されている。